

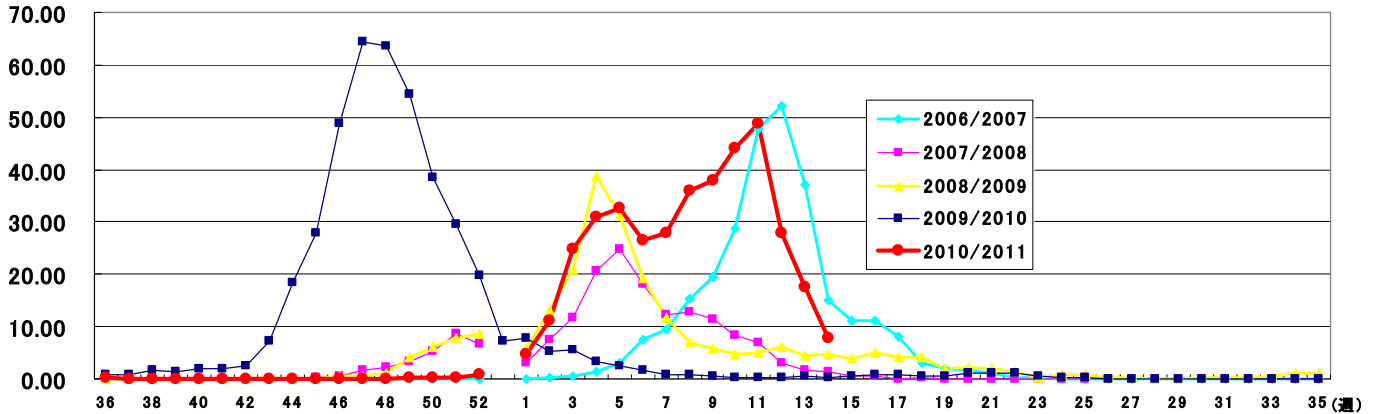
# インフルエンザの流行状況について(6)

※山口県のインフルエンザの定点あたりの報告数は第11週をピークに3週連続で大幅に減少し、今週警報レベルの終息基準値(定点あたり10未満)を下回りました。

## 1. 流行状況

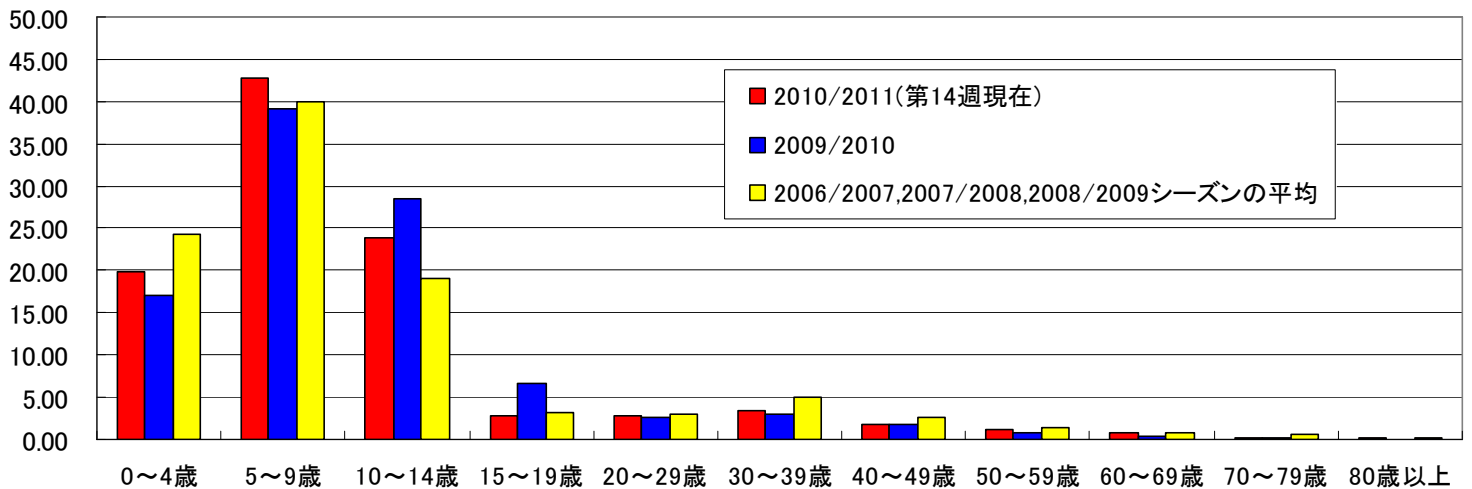
各シーズンの発生動向をグラフにしたものです。今シーズンは第1週頃から急増し第6週に一旦減少した後に再び増加を続け、第11週に最多報告数となりましたが、その後3週連続で大幅に減少し、今週警報レベルの終息基準値を下回りました。

(定点あたりの報告数)

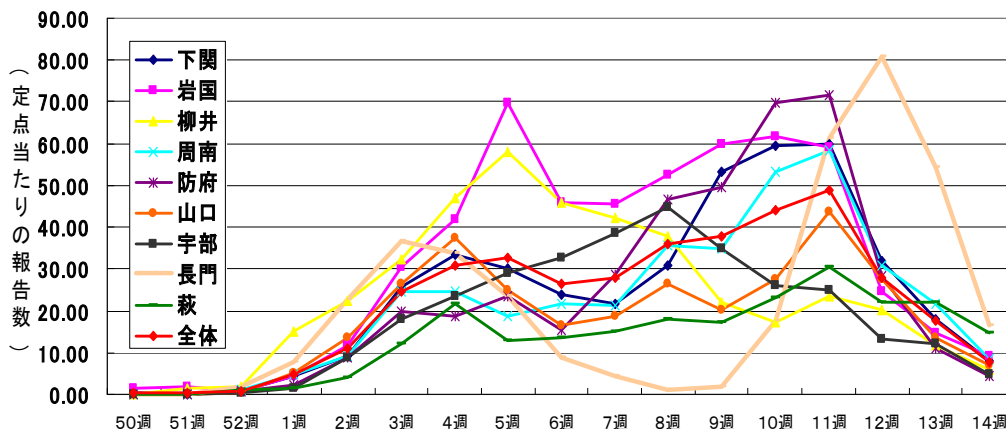


## 2. 年齢構成

今シーズン(2010/2011シーズン:赤色)は、過去4シーズンと比較すると5~9歳の報告数はやや多くなっています。0~4歳と10~14歳では2009/2010シーズン(青色)と2006~2009のシーズン平均(黄色)の中間ぐらいの割合となっています。



## 3. 地域別発生状況



地域別にもすべての地域で減少しており、長門、萩地域以外のすべての地域では、今週警報レベルの終息基準値を下回りました。

山口県環境保健センター  
 保健科学部  
 〒753-0821  
 山口市葵 2 丁目 5-67  
 TEL (083)922-7630  
 FAX (083)922-7632